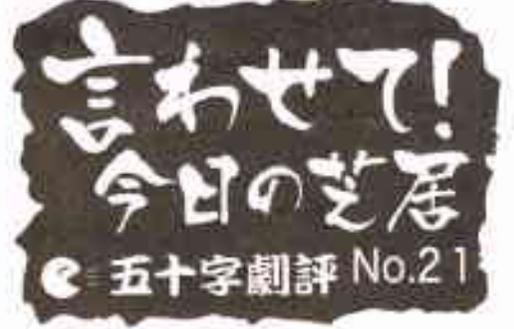


見よ、飛行機の高く飛べるを (劇団 青年座)



▼クスクス笑える場面もあり、3時間あきずに観ました。ただ、終わり方はスッキリしない物でした。
(女性)

▼杉坂さんが今後有名にならなかったとしても近未来活躍する女性達に影響を与えた人物であつたらうと願います。みつしまさんはもっと荒っぽいカルチャーショックをうけるような男性と出会つて、自分からアプローチして結ばれるような恋をして欲しかった。
(女性)

▼とにかく思つたのは、合間合間のBGMが素敵だったこと。あとは己の勉強不足を痛感させられました。これは一話に詰め込むより、二・三話構成で観てみたいです。
(女性)

▼最後に見えた飛行機に、自分自身の希望を重ねて観ていました。女性が頑張る姿に勇気をもらったので、明日から頑張ろうと思えました。
(女性)

【五〇代】

▼実に奥深い作品であつた。女性の特長や集団性が痛烈に伝わってくる。だからこそ信念を貫く初江が、つらく哀れで、美しい。
(男性)

▼お芝居の最後の良い所が聞こえなく……。本当に残念！ケータイは電源切りましようね。もう一度観たいと思つた。
(女性)

▼時代背景と女性の地位と向学心と。が、ラストで無理矢理にタイトルを再び明示して、興ざめ、減点。残念です。
(女性)

【六〇代】

▼既視感を覚えるお芝居だつた。なぜだろう。現在も本質的に変わっていない？形式的には男女平等、表面的には平和。でも本当に。現象に感わされると本質が見えなくなる。でも、今は見えなくさせられている。権力者は自分たちに「都合な事実」は隠す。知らせないや無かつたことにさえする。「歴史的事実」であつてさえも。そんな社会に生きていく自覚があるだろうか。
(男性)

▼明治の時代には女性にも学問を教育をと聞いていましたが、女学生達に新聞などは読むな説ませないと、いつの時代も矛盾だらけですね。女学生が一人で頑張るには、信念と覚悟とものすごいエネルギーが必要だつたと思います。この女性達の頑張りが、現在の私達らにつながっていることに感謝です。ただ、観客席中央での観劇でしたが、声がひびきすぎるのか？女学生の方達のセリフが全体に聴きにくかつたのが残念でした。
(女性)





▼期待してただけに少々がっかり。女学生たちの熱意が伝わってきませんでした。辛口ですみません。(女性)

▼よく台本を読んでから観るか：と議論になるが、今回は団結した闘いが崩れるのを事前に知らなくって良かった。(男性)

▼男女平等、思想信条の自由のない時代。女学生の夢がつぶされていく。今ある自由平等を守っていかなければならない。(女性)

▼どうなるのだろう：ハラハラドキドキしながら観ました。あの時代の女性の苦労の上に今がある。しかし、まだまだ飛べない人の多いことか。不断の努力が求められる。(女性)

▼この作品で一番関心があったのは、市川房江さんをどのように描いているのかということ。そして、杉坂と光島の友情のあり方。彼女たちの行動が、いろいろな人たちに受け継がれ、連続と現代に繋がっているという事をあらためて感じた。私の好きなタイプの芝居だった。(男性)

▼芝居は見応えがあった。東京で二〇代の頃四年ほど見て以来です。ただ、残念なのは一部の観客のマーナのひどさ！この件で、劇団からクレームきてませんか？良い芝居とは演ずる役者と観る観客が一体となつて創るものです。とても残念な舞台で、先の五回分の芝居が思いやられます。ユーウツな気分のPS後ろの二人連れのオバハンの開演後のオシャベリが止まら

ない。後半も。最悪なのはクライマックスでのオバハン、電話も扉廊下のそばで大きな声でしゃべるので、公会堂中に鳴り響き、観客も、役者も集中力がかなりそがれた。芝居を見て良かったことより、不愉快の方が上回った。(男性)

【七〇代】

▼女だけでなく、人はだれでもとぶことが大切。昔は本当に大変だったと思うが、今も同じように思える。しつかり考え、発信する、とぶ人間が増えることを願う。永井愛さんが演出したらもつとスピード感が。(女性)

▼隠れて新聞を読んでいた初江が、最後にはただ一人で星を見上げて：さみしかったらうに。「知は力なり」とか。(女性)

▼小説部分を切り取った新聞を見せられた当時の教師を目指す女子学生。あふれ返る情報の現代で正しさを見極めていかななくては。(女性)

▼前半の女優さんの声が聞き取れず、入れなかった。百年前の女性

の自立しようとする力で、現在があるのですね。(女性)

▼とにもかくにも、元気の良い作品。若い頃の自分に、こんな情熱があったのかわく。イヤなかつた羨ましいこの若さ。(女性)

【八〇代】

▼機関銃のようなセリフが飛び交い、老人はびっくり。若き女性が古い壁を打ち破っていく姿は頼もしかった。(不詳)

【年代・性別不詳】

▼志に共感しながらも離脱してしまふ女学生に自分が重なった。安全地帯に逃げ、何もせずにいると取り返しつかない事態になってしまうと不安になった。

▼女学生達の声が割れてききずらかった。最後にTELEをして居る人が居りシラケた。最後のシーンが感動！

■観客スタッフから

芝居には多種多様な楽しみ方、感じ方があると思います。そんなみなさんの多様な意見を、この紙面で比較し、味わい楽しむことができたらいいと思います。みなさんの溢れる思いをぜひ投稿してください。